

経営比較分析表（令和5年度決算）

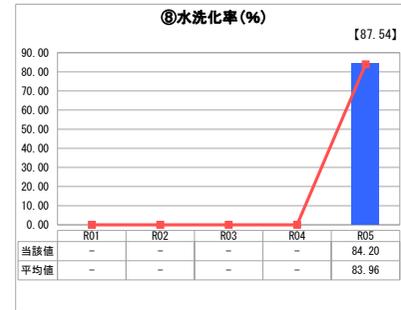
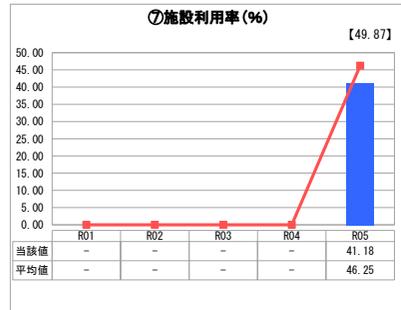
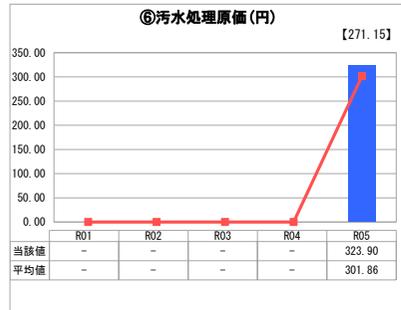
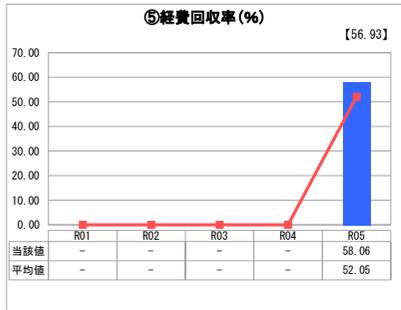
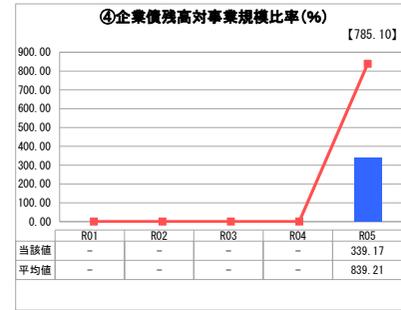
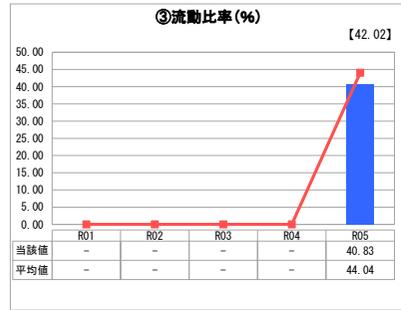
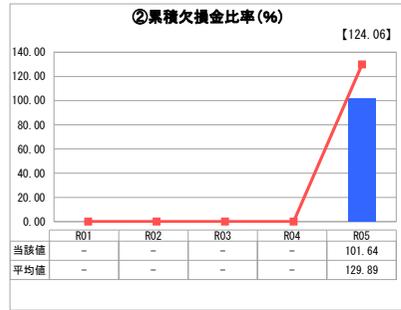
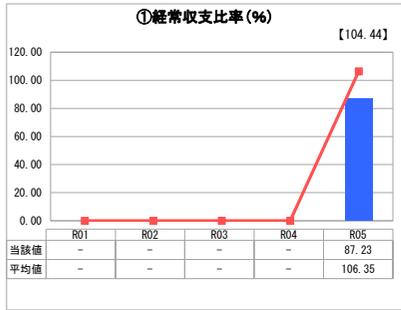
佐賀県 多久市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	64.30	5.19	99.91	3,960

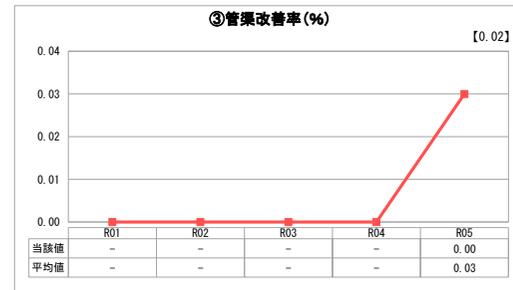
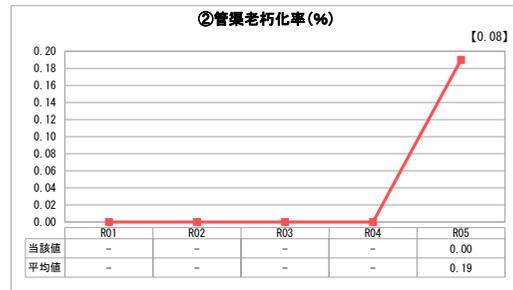
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,988	112.12	160.44
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
924	0.57	1,621.05

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度より地方公営企業法を適用したため、当該年度のみ数値の評価となる。

①経常収支比率
100%を下回っており単年度赤字であり、早急な経営改善が必要な状況である。

②累積欠損金比率
当該年度の損益赤字により、累積欠損金を生じている。早急な解消が必要な状況である。

③流動比率
100%を下回っており、短期的な支払能力に課題があるため、支払い能力を高める必要がある。

④企業債残高対事業規模比率
類似団体平均と比較して低い水準である。今後機能強化事業等が予定されていることから、適正な水準の企業債残高の維持に努める。

⑤経費回収率
類似団体平均を上回っているものの、100%を下回っており、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により補填されている状況である。適正な使用料収入の確保が必要である。

⑥汚水処理原価
類似団体平均を上回る水準となっており、施設規模が適正な水準であるか引き続き注視する。

⑦施設利用率
類似団体平均及び全国平均を下回っている。今後も施設利用率の改善について検討していく。

⑧水洗化率
類似団体平均をやや上回っているが全国平均を下回っているため、より一層の接続促進に取り組む。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
平成16年度からの供用開始であるため、類似団体平均及び全国平均より低い水準である。

②管渠老朽化率
平成16年度からの供用開始であるため、法定耐用年数を迎えている管渠はない。

③管渠改善率
現状更新が必要な管渠はないため0%である。

全体総括

本市農業集落排水事業は、令和5年度より地方公営企業法を適用した。

経営の健全性・効率性については、経常収支比率と経費回収率が100%以下であり、流動比率も100%を下回るなど、経営改善が必要な状況である。

老朽化の状況については、平成16年度からの供用開始であり、現時点で更新の必要性は生じていない。

将来の大規模更新時期に備え、財務的な健全性を確保し経営基盤の強化を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。